

1 研究課題

自然と子どもの心を未来につなぐ「ESD」

～「食育」「エネルギー教育」「国際教育」の実践を通して～

2 研究内容

今年度本校は「大曲南中ESD」を掲げ、全教育活動を通して『「何とかしなければ!」という思いを行動につなげられる人』を目指しており、総合的な学習の時間においては「進んで課題を見つける力」「学んだことを発信する力」「生活に活用する力」の3つを身に付けたい力としている。これまで環境教育に関しては、1年生が「食育」、2年生が「エネルギー教育」、3年生が「国際教育」と各学年でテーマを設定し、地域や関係機関と連携しながら様々な体験活動を行ってきた。今年度はこれまでの活動を土台とし、課題設定の重視と活動のねらいの明確化、活動後のまとめの工夫と積極的な発信、そして生徒会活動と連動しながら身近なことから自分たちができることを実践する「態度化」を重点としている。

また今年度、「ESDの視点で育成したい能力・態度」を小・中学校の各発達段階に応じて整理し、9年間を通して目指す姿を明確にした。さらに「ESDカレンダー」を見直し、「大曲南中ESD」で目指す力と単元との関係を視覚化した。(別紙参照)

環境教育に関わる今年度の主な活動は次の通りである。

〈全体に関わる活動〉

- ・全校「総合的な学習」オリエンテーション
- ・親水公園クリーンアップ
- ・小・中合同クリーンアップ
- ・アルミ缶・古紙回収
- ・「総合的な学習の時間」発表会(学校祭で)

〈「食育」の視点からの活動〉

- ・緑のカーテンプロジェクト(大仙市健康増進センター管理栄養士によるゴーヤの調理指導)
- ・「有機肥料で育てる野菜」栽培(有機肥料は大仙市学校給食総合センターより提供)
- ・微生物の役割についての講演会(大曲農業高校博士号教員)
- ・省エネクッキング出前授業(あきた地球環境会議)
- ・大仙市食生活改善推進委員による食育教室
- ・秋田市民市場訪問(ゴミ処理・地産地消等)
- ・秋田県水産振興センター訪問(地産地消)

〈「エネルギー教育」の視点からの活動〉

- ・緑のカーテンプロジェクト(ゴーヤ栽培)
- ・職場体験学習(地域企業の環境対策でのエコ学習)
- ・ユース秋田港ウインドファーム見学
- ・秋田市総合環境保全センター見学
- ・修学旅行での施設訪問(未来のエネルギーについて)

〈「国際教育」の視点からの活動〉

- ・国際教養大学訪問及び留学生との交流
- ・南中環境会議開催(海外と日本の環境対策比較)
- ・オーストラリアの学校とのスカイプを用いた交流
- ・海外ユネスコスクールとの電子メールを用いた交流(ドイツのギムナジウム)
- ・国際教養大学の留学生を迎えての進路集会

3 地域との連携

- ・親水公園クリーンアップ
- ・小・中合同クリーンアップ
- ・アルミ缶・古紙回収
- ・地域企業での職場体験学習
- ・小中連携環境デーを地域に公開
- ・環境通信「ESDom」の配布

4 研究の成果と課題

5月に行った生徒アンケートで、「身の回りの自然や環境を守る活動をしたことはあるか」については、約90%が「ある」と答えている。しかし、環境について「疑問や関心をもつことがある」は約30%と低い。そのため、実際はクリーンアップ等与えられた活動を行っているだけで、課題意識をもち、自ら行動した結果ではないと捉えている。

このような生徒の実態から、今年度は、総合的な学習の時間を中心として「大曲南中ESD」の3つの力の育成を目指して研究を進めてきた。特に、様々な活動の中で課題設定を大事にし、課題の解決に向けて他者と協働させる機会を意図的に設定した。また、探究活動の中で、自分の考えと他者の考えを比較・検討させることを意識させた結果、個の思考に深まりが見られるようになってきている。さらに、他者との交流を通しての「まとめ」は、個の自信につながり、積極的に発信しようとする姿勢も見られるようになった。今後は、学んだことを生活の場面に活用し実践できるようにすることが課題である。そのためには生徒会活動と連動させ、身近なことからできることを具体的に実践させたい。また、地域の環境について課題意識をもたせ、自分たちがすべきことを考えさせた上で行動に移せる力を育てていきたい。

「ESDカレンダー」については、実践を重ねながら更なる見直しと改善を図っていくことで、活動の質の高まりや成果を期待したい。更に、小・中・高連携や関係機関、地域、大学や海外のハイスクール・ユネスコスクール等との交流も継続し、生徒の視野を広げたり、多様な視点から物事を捉えたりすることにより、環境教育を通して「大曲南中ESD」にせまっていきたい。

5 平成28年度のトピック



総合的な学習の時間全校オリエンテーション
環境学習の取組の概要説明（生徒会／5月）



環境通信「ESDom」
総合的な学習の時間の取組を地域に発信



微生物の役割についての講演会
大曲農業高校博士号教員より（1年生／5月）



「有機肥料で育てる野菜」栽培
ナス、ピーマン、ミニトマトの植え付け（1年生／6月）



ユーラス秋田港ウインドファーム見学
風力発電について学習（2年生／5月）



学校祭での探究成果の発表
持続可能な発電方法について（2年生／10月）



国際教養大学訪問及び留学生との交流
南中や地域の文化、行事等を紹介（3年生／7月）



総合的な学習の時間「南中環境会議を開こう」
日本と海外の環境対策の比較・検討により
個の課題を設定（3年生／7月）